

第3回
仁比山小学校

私たちの学校自慢

この連載は、市内の小中学校を訪ね、他の学校には負けないという「学校自慢」を子どもたちに紹介してもらおうコーナーです。



3回目は、仁比山小学校です。4年生の福田美沙紀さん、執行浩暉さん、荒木宏菜さん、中山琴望さん、古賀悠香理さん、佐藤みな子さんの6人に話を聞きました。

この学校の自慢は何ですか？

6人全員「あいさつが良くできること」
6人全員があいさつと即答。そこで次の質問です。

4年生は、昨年クラス全員で仁比山小学校区について調べ、約8ヶ月間かけて地域マップを完成させました。白角折神社はしらとりから名付けられたことや愛逢橋には年間約16万人訪れることなどを学びました。

ふるさとを誇りに思う



地域マップを作った感想は？

福田さん 「色々なことが分かって良かった」

執行さん 「古い神社がいっぱいあってすごいと思った」

荒木さん 「校区のことを多くの人に知ってもらえた」

中山さん 「住んでいても知らなかったことを勉強できた」

古賀さん 「マップを作ることで伝えられて良かった」

佐藤さん 「知らなかったことを知ることができて良かった」



校区自体が自慢できるものでいっぱいなのです。これだけなら、他の校区でもよく聞く話ですが、毎年、3年生以上が校区内の八天山に登る学校行事があり、そこからは、校区内が一望できるそうです。八天山は正式には土器山といい、標高は429・9メートル。急勾配の道が続く険しい山です。この登山、実は仁比山小学校の校歌に出ています。

「朝夕仰ぐ八天山。登るに道は難くとも、その頂を極むべし。学びの業もかくてこそ」校歌の作詞は、「ふるさと」「春がきた」などの唱歌で知られる高野辰之です。作られたのは、昭和9年。少なくともその頃には、この行事があったのではないかと思われます。校歌の通り八天山に登り、校区を一望し、住んでいるふるさとのことを学びます。

仁比山小学校の自慢は「ふるさとを誇りに思う、心」と言えるでしょう。

校長先生から一言

校区は、自然と歴史が大変豊かな地域です。「我が、ふるさと仁比山の下」を見つけ、それをICTを活用して発信しましょう。そして、自分のふるさとを愛せる子どもになってください。

仁比山小学校 校長 千住由一朗





アルミ缶回収デー !!

アルミ缶は何度でもリサイクルができて、再生時には97%のエネルギーを節約できます。お持ちいただいたアルミ缶はグループで買い取ります。リサイクルにご協力をお願いします。

- とき 8月23日(火) 午前9時から11時まで
- ところ 神崎市中央公民館 北側駐車場
- 注意事項 アルミ缶はつぶさないでください。(洗わなくても結構です。)

◎問い合わせ先

神崎市役所 商工観光課 ☎ 37 - 0107

神崎市消費者グループ協議会 森田 ☎ 52 - 3058

あの日あの頃

盆踊り

お盆の伝統行事として伝えられてきた盆踊り。地域や寺などによって風習もさまざまでした。始まりは宗教的なものだったのですが、今では観光や祭りとして有名になったものもあります。一方で多くの地域で姿を消していきました。

写真は昭和46年に当時の神埼農業高校グラウンド(現在は県総合庁舎)で開かれた盆踊りです。神埼町公民館が発行していた「館報かんどぎ」9月号によりますと、一本化をしてほしいという町民の要望を受けて、この年初めて神埼、仁比山、西郷3地区合同の盆踊りが実現したということです。商工会、農協、婦人会、青年団などが主体となり、約2千人の町民でにぎわいました。



(写真：昭和46年8月17日撮影、神崎市所蔵)

文芸コーナー

俳句

へしの実会

来客に新茶を入れる狭き部屋

藤山 初次

痩せしまま今年又出す麻の服

牟田口則子

初恋の女唄はせる杏子の香

香月富士雄

年老いて新茶の味が分りくる

井上 豊美

春の夢若き姿の母の影

松本 都子

新茶揉む母の笑顔が夢に立ち

音成 市次

短歌

千代田短歌会

久々の梅雨の晴れ間を窓すべて

開きて乾きし風通しをり

いちにちを無事にすごせし安らぎに

犬と連れ立つ夕映えの道

ささやかな希望の様にわが納屋に

生れし仔猫のなき声を聞く

高橋 露子

長谷川明子

石田千津代



神埼短歌会

萎ゆる身にやさしく開く自動ドア

その当然の沁みる夕暮れ

カンボジアの建築技術惚ぼする

アンコール遺跡のテンプルクロス

三食に着替えに入浴に日暮らしを

介護にたよって今日も暮れたり

母の日に子らが贈りしカーネーション

紅華輝き棚に明るき

給桑の皇后さまの蚕飼ふ

み心伝う喰む音きかるる

中原 幸

川副 良江

大石千代子

納富 茂子

牡丹のくれなゐ炎ゆる大輪の

美事と言ひつつ朝を活けをり

かささぎの作らむとする愛の巣を

はしごとカラス邪魔ばかりして

母の里現在もほたるの飛び交ふや

うちわに追ひたるほうほうはたるこい

バス停に指で時刻を確かむる

母のスカートつかまる幼な

うたたねの夫に声かけ舌もつれ

ことばにならぬ夫におどろく

大井サカエ

前山ツタエ

城島 孝子

今泉 巨彦

坂井 栄子

川柳

へあおば会

夫婦して八百長ごっこ続けている

妻からのプレゼントには訳がある

二つ三つ持病はあるさ六十九

趣味であり糧にもしてる土いじり

三回忌父のシヤクナゲ花を付け

世もねじれ我家もねじれ風吹く

お母さんいつまで抜くのその白髪

鶏はひよこかしわと名を変える

どうせ生きるなら前向いて九十路

眞島 壽子

眞島 永治

森崎 寛次

佐藤久仁子

田中 雅代

森 ミズエ

田中 節子

相続、売買、贈与などの登記 商業、法人登記 債務整理、成年後見

お気軽にご相談下さい。

営業時間 午前8:00~午後6:00
時間外についても、電話予約可

司法書士 すえなが総合事務所

TEL52-2079 (サピエより南に100m)

詳しくは **末永博義** で検索して下さい

有料広告